

がん対策における地域共生の 今後の取り組みについて



滋賀県大津市健康保険部保健所 健康推進課

大津市の概要



◆2009(平成21)年4月より中核市

◆面積 464.51平方キロメートル

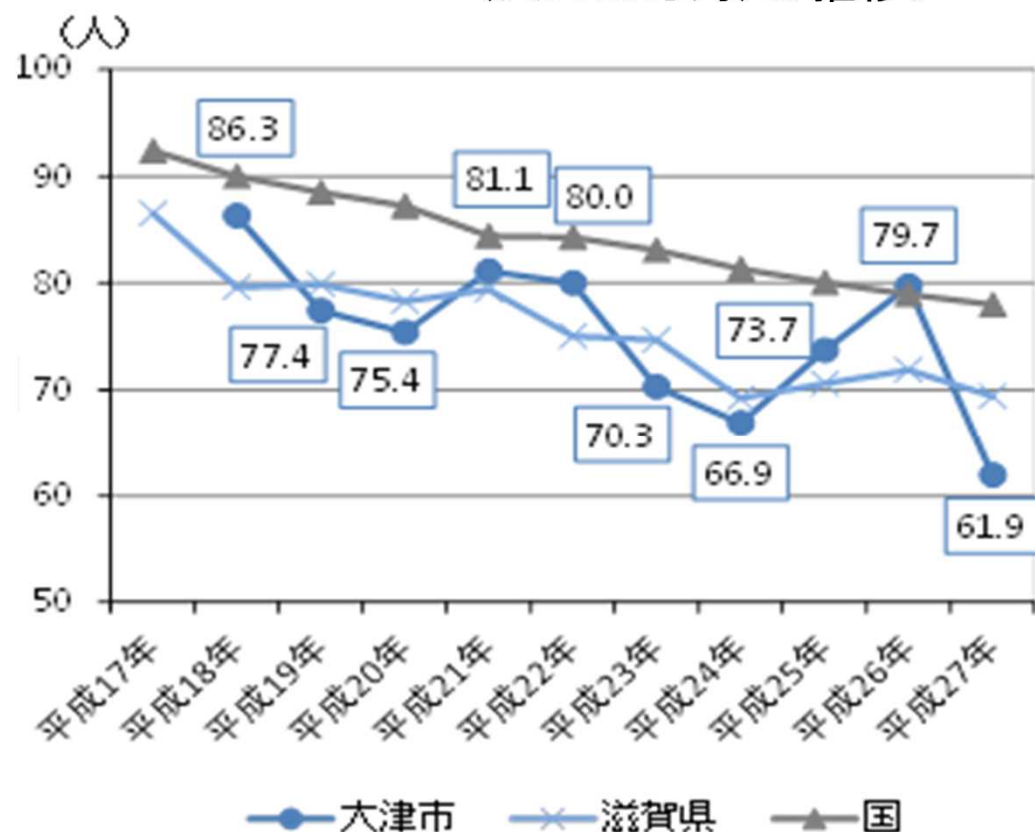
◆人口 342,571人

(平成29年10月1日現在)

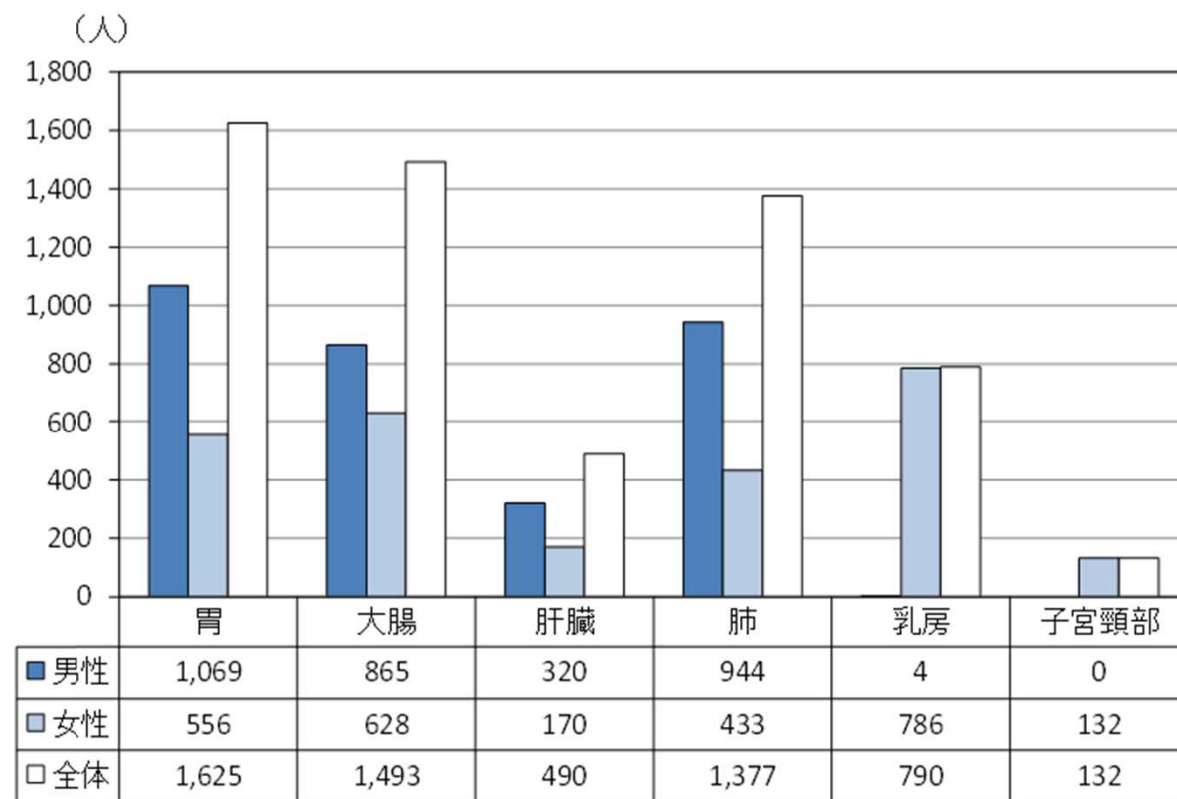
◆高齢化率 25.6%で増加傾向

がんによる死亡、罹患の状況

＜75歳未満のがん年齢調整死亡率
(人口10万対)の推移＞



＜大津市がん部位別罹患者数 最新5年(H21年～H25年)＞



がん診療機能を有する病院

【厚生労働大臣・県知事が指定】

◆滋賀医科大学医学部附属病院

- ・地域がん診療連携拠点病院（厚生労働大臣が指定）
- ・特定機能病院(厚生労働大臣が承認)
- ・滋賀県がん診療連携拠点病院(県知事が指定)
- ・滋賀県がん診療高度中核拠点病院(県知事が指定)

◆大津赤十字病院

- ・地域がん診療連携拠点病院（厚生労働大臣が指定）
- ・滋賀県がん診療広域中核拠点病院(県知事が指定)

◆地方独立行政法人市立大津市民病院

- ・滋賀県地域がん診療連携支援病院(県知事が指定)

大津市がん対策推進基本計画

平成29年6月策定

【計画策定の目的】

本市においても死因はがんが最も多く、全体の約3割を占めています。生涯のうち、男性の2人に1人、女性の3人に1人ががんにかかると言われており、がん対策への取り組みは重要となっています。

こうしたことから、がんの予防及び早期発見の推進をはじめ、療養生活の質的向上及びがん患者やその家族への支援を図ることを目的として、総合的かつ計画的に推進するために策定いたしました。

【基本理念】

**がんを知り、がんと向き合い、
がんとともに暮らせるまちづくり**

市は、市民、がんに携わる保健医療関係者、企業などの事業者、教育関係者、NPO法人などの地域の関係機関・団体など、地域の誰もががんと向き合い、互いに支え合い、連携しながらがんに関するサービスや支援を充実していきます。それぞれの役割による協働のもと、誰もが安心して暮らせるまちをめざし、これからのがん対策を推進します。

大津市がん対策推進委員会委員

滋賀医科大学腫瘍センター 副センター長

大津赤十字病院 院長補佐

公益社団法人 大津市医師会 公衆衛生部長

一般社団法人 大津市歯科医師会 常務理事

一般社団法人 大津市薬剤師会 会長

地方独立行政法人 市立大津市民病院 緩和ケア科診療部長

滋賀県がん患者団体連絡協議会 会長

東レ(株)滋賀事業場健康管理センター

公募委員

滋賀県健康医療福祉部健康寿命推進課長

【計画の体系】

基本目標

施策の体系

1 がん予防の推進

- (1) がんに関する知識の普及
- (2) 生活習慣の改善によるがん予防の取り組みの推進
- (3) 受動喫煙の防止

2 がんの早期発見の推進

- (1) がん検診の受診率の向上
- (2) がん検診の質の向上

3 がん医療の充実と療養生活の質的向上

- (1) がん医療の充実と医療従事者等の育成支援
- (2) 在宅医療の推進
- (3) 緩和ケアの充実

基本目標

4がん患者とその家族への
支援の充実

5働く世代へのがん対策の
充実

施策の体系

(1) 情報提供と相談支援の充実
(2) がん患者とその家族の生活支援

(1) 市内事業所及び保険者等との連携に
よるがん対策の充実

【がん対策推進のためのそれぞれの役割（抜粋・要約）】

- ◆**市民**
 - ・がんに関する知識を深め、自らの生活習慣を見直します。
 - ・がん検診を受診し早期発見に努めます。
 - ・治療や療養生活を自分で選択できるよう、必要な情報を収集します。

◆**保健医療関係者**

- ・がんに関する情報を提供します。
- ・医療従事者間の連携と補完を重視した多職種連携に努めます。

◆**事業者**

- ・がん検診の受診勧奨に努めます。
- ・従業員や家族が治療と仕事を両立できるよう努めます。

- ◆**教育関係者** ・がんに関する教育を行います。
 - ・がん患者が治療と学習を両立する上での相談に応じます。
- ◆**地域団体** ・市民の生活習慣改善の啓発やがん検診の受診勧奨を行います。
 - ・相談支援窓口の紹介や相談支援の機能を担い、がん患者の安心へのサポートに努めます。
- ◆**市** ・がんの正しい知識の普及啓発を行います。
 - ・がん検診の受診率の向上に努め、対象者には精密検査の受診を促進します。
 - ・在宅療養や緩和ケア、専門相談先などの情報提供を行います。
 - ・受動喫煙防止に向けた周知・啓発を行います。

2月4日は

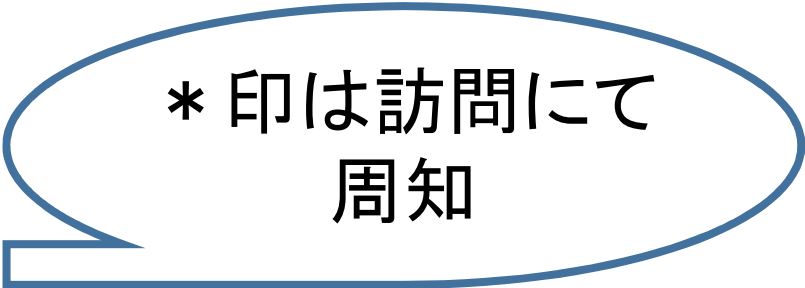
「大津市がんについて考える日」



【取り組み】

◆計画書の配布

- ・大津市医師会 ・大津市歯科医師会 ・大津市薬剤師会
- ・保険医療機関（内科、歯科） ・保険薬局 ・訪問看護ステーション
- ・患者会
- * がん相談支援センター、患者相談支援室
- * NPO法人淡海かいつぶりセンター（まちなかのがん相談室）
- * 大津商工会議所
- * 全国健康保険協会（協会けんぽ）滋賀支部
- * 滋賀産業保健総合支援センター
- * 大津市健康推進連絡協議会（役員、地区理事）



* 印は訪問にて
周知

【今後の取り組み】

◆がん診療連携拠点病院がん相談支援センター

滋賀県地域がん診療連携支援病院患者相談支援室

- ・市のホームページでがん情報作成のための情報提供
- ・がん患者が在宅療養を安心して受けられるケアシステムの構築
- ・相談支援センターの認知度向上取り組み

◆NPO法人淡海かいつぶりセンター

- ・社会保険労務士による就労相談を開催
- ・情報提供の連携
- ・センターの認知度向上取り組み

◆商工会議所

- ・経済産業省が推奨している「健康経営」の取り組み
- ・市との連携による情報提供

◆協会けんぽ

- ・がん検診を受けられなかった人へ市の検診をPR

◆産業保健総合支援センター

- ・治療と仕事の両立支援制度のPR
- ・会社と主治医間の情報連絡シートの活用PR

◆患者会

- ・学校、企業、地域の集まりなどで、体験を通じたがんに関する講演
- ・啓発活動

◆教育委員会

- ・小学6年生及び中学3年生に対して、教科の中で生活習慣病とともにがんについて教育。
- ・その他の学年でも学活や道德等で命の大切さを考えるテーマの中でがんについて触れる。

◆市

- 「大津市がんについて考える日」に、市民ががんについて考える機会を設ける。
(講演会、啓発活動を多機関と協働で実施)
- がんに関するホームページを作成
(多機関から情報提供いただく)
- 協会けんぽとの協働(特定健診とがん検診の同時実施、啓発)
- 商工会議所と連携し、働く世代への啓発
- 患者会主催のピアサポーター養成講座の周知協力
- 訪問看護体制強化及び在宅療養多職種連携推進のための事業

市民

事業者

教育関係者

市

地域団体

保健医療関係者

**がんを知り、がんに向き合い、
がんとともに暮らせるまちづくり**

まとめ

がん対策推進基本計画策定の過程や計画の周知を行う中で、それぞれの立場での課題や役割を共有することができ、また、それぞれの立場で役割を担うことで、がん対策を推進することができるという認識が広がったように思います。

がん対策における地域共生社会の実現に向けて一步を踏み出したところです。

ご清聴ありがとうございました

